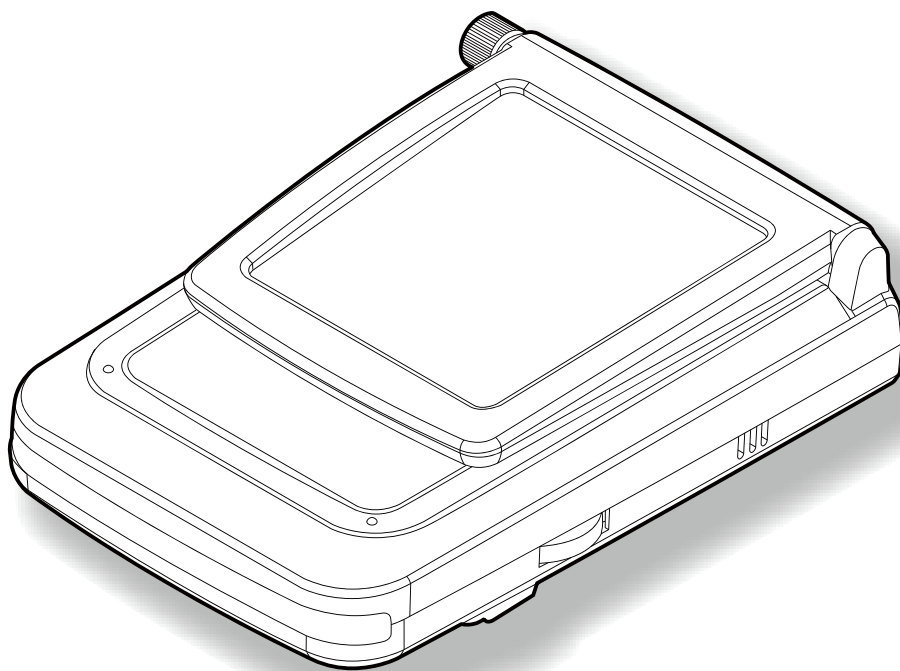




サンバイザー取付け対応  
ソーラーレーダー  
**BF-510SRV**

取扱説明書／保証書



この度はベストワンシリーズをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。尚、読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

**本書の見かた**

⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
	シガープラグ電源で作動している場合に対応する内容を説明しています。

# 目次

目次	2	故障かな?と思ったら	35
ご使用上の注意	3	製品仕様	36
各部の名称	5	さくいん	37
レーダー本体	5	保証規定	39
梱包内容	6	BF-510SRV 保証書	裏面
ご使用の前に	7		
レーダー本体を充電する	8		
ソーラーバッテリーと シガープラグ電源	9		
取付け方法	10		
レーダー本体を取り付ける	10		
基本操作	15		
電源を入れる	15		
音量を調整する	16		
内蔵バッテリーの状態を チェックする	17		
便利な機能	18		
警報をミュート(消音)する	18		
振動センサーの感度を調節する	20		
LSC 機能	21		
設定項目	22		
無線設定	22		
レーダー受信感度の設定	23		
警報	24		
レーダー警報のしかた	24		
無線警報のしかた	25		
付録	26		
取締まりの種類と方法	26		
無線の種類	29		
初期状態に戻す(データリセット)	33		
ディスプレイモード (販売店向け機能)	34		

# ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

**⚠ 警告** 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

**⚠ 注意** 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

## ⚠ 警告

- 本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください。
- 本製品は電子部品を使用した精密機器のため、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。また、自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。

## ⚠ 注意

- 本製品にはお買い上げの日から1年間の製品保証がついています。（但し、内蔵電池、テープ等の消耗品は保証の対象となりません。）
- 本製品の近くに他のGPS機能を持つ製品を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- 本製品の受信機能は、製品仕様欄に記載されている周波数帯のみ有効です。
- 一部ナビゲーションシステム、車載用BSチューナー、CSチューナー、地上波デジタルチューナーや衛星放送受信機等の車載電子機器で漏れ電波が取締り機と同じ周波数の場合、本製品のレーダー受信機能が受信することがあります。

# ご使用上の注意

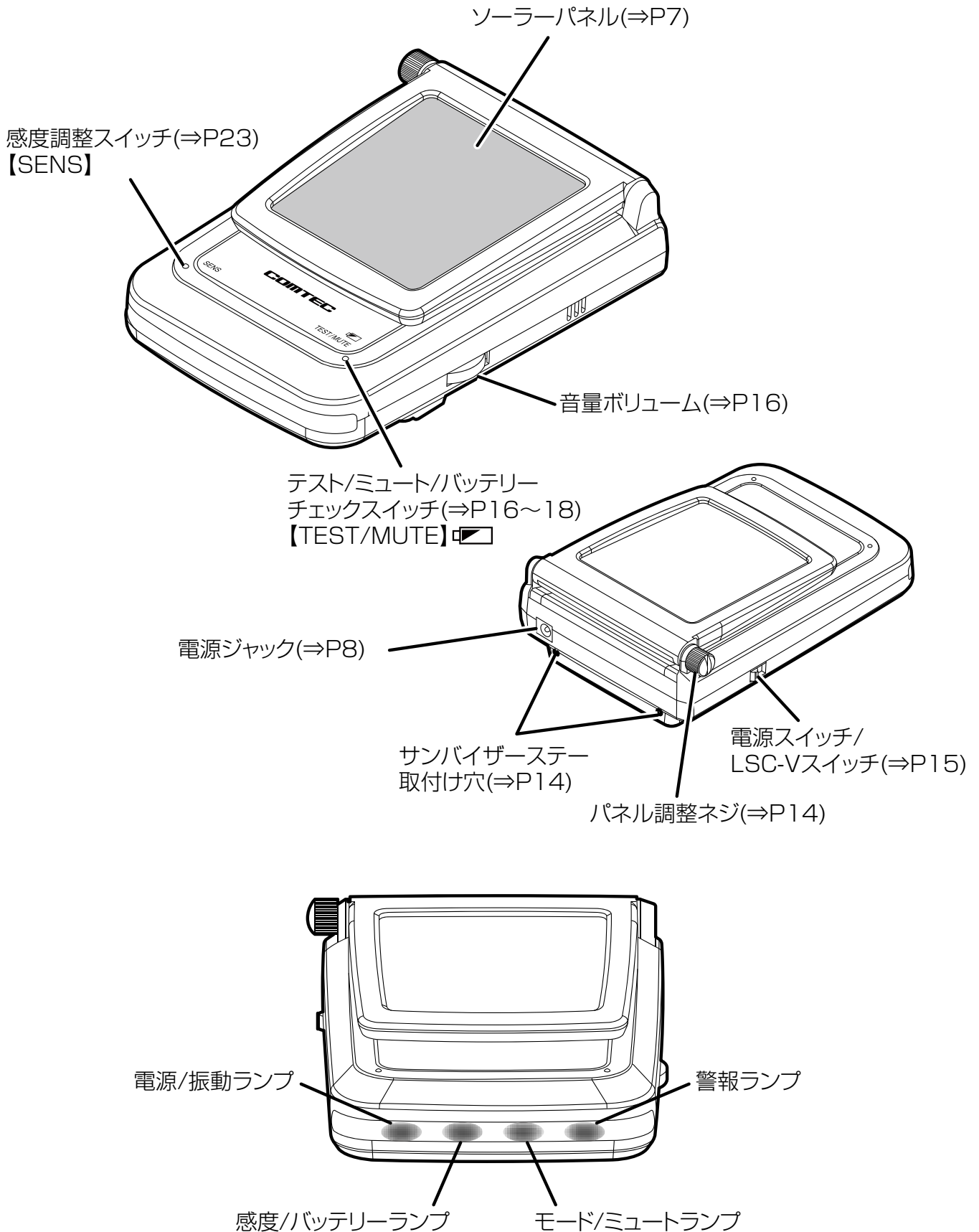
## ⚠ 注意

- 取締り機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で本製品のレーダー受信機能が受信することがありますが、誤動作ではありません。予めご了承ください。（自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダーの一部）
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、レーダー波の電波が受信できない場合があります。
- 内蔵バッテリーは約 3 年が交換時期の目安となりますが、使用状況によっては寿命が短くなります。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお申し付けください。
- 本製品を厳寒地や曇りの日が続く時にご使用になる場合、内蔵バッテリーの性能が十分に発揮できない場合があります。付属のシガープラグコードを接続してご使用ください。
- 環境保護と資源の有効利用をはかる為、寿命となった本製品、内蔵バッテリーの回収を弊社にて行っています。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様及び、外観は改良の為、予告なく変更することがあります。ご了承ください。
- 本製品は DC12V 車専用です。（DC24V 車へのお取付けはできません。）
- キーを OFF にした時、シガープラグの電源が 0V にならない車両（外車など）の車両バッテリーを保護する為、エンジンを始動していない時は必ずシガープラグコードを抜いて使用するか、弊社オプションの SS-063 電源配線ユニットでイグニッション電源に直接接続してください。
- 電源を分岐して使用している場合、電流が足りず充電不足になることがあります。

※ 本製品を取付けての違法行為（スピード違反等）に関しては、製品動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

# 各部の名称

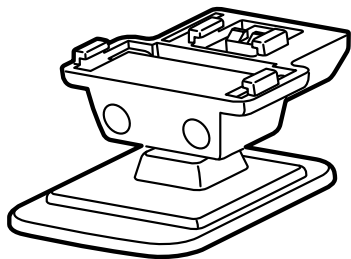
## レーダー本体



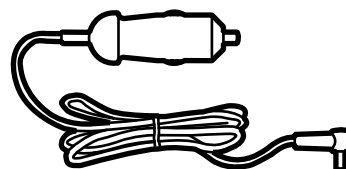
# 各部の名称

## 梱包内容

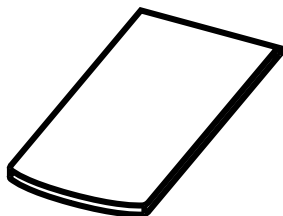
ステー (1 個)



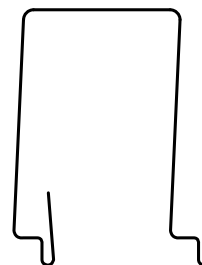
シガープラグコード (1 個)



両面テープ (1 枚)  
(ステー固定用)



サンバイザーステー (1 個)



# ご使用前の前に

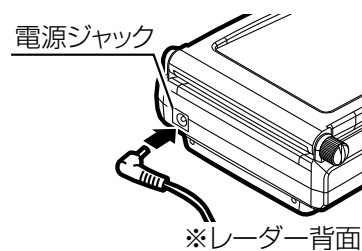
ご使用前に必ず十分な充電を行ってください。

- 本製品は、お買い上げ時には検査用予備充電のみされており、長時間、充電しないとバッテリーが自然放電します。初めてご使用になる時は、必ず付属のシガープラグコードを使用し、エンジンをかけて4時間以上充電してください。（充電は断続的に行うことも可能ですが、その場合は目安として8時間以上充電してください）
- 通常の使用状況において、ソーラーパネルの発電量と回路消費電力のバランスがとれるように設計されています。ただし下記のような場合、発電量が不足しローバッテリーサイン（内蔵バッテリー充電不足）が表示されることがあります。もし、このような症状が現れた場合には、付属のシガープラグコードを使用して定期的に充電を行ってください。
  1. 屋内駐車場・ガレージ等、太陽光の直接当たらない場所での長時間駐車。
  2. 冬季・梅雨時等、曇りの日が続き日照時間が少なくなる。
  3. 高速道路・交通量の多い道路・鉄道の線路近く等、絶えず振動を受けて動作状態になる。
  4. 夜間走行の頻度が多い。
  5. 全ての機能を ON にした状態で長時間使用する。
- ソーラーバッテリー動作時は、全ての受信機能を間欠動作しますが、付属のシガープラグコードを接続してご使用する場合は連続動作となり、より安定した状態でのご使用が可能です。
- フロントガラスがUVカットガラス等の場合、ソーラーパネルへの光量不足の為、正常な充電ができない場合があります。付属のシガープラグコードをご使用ください。
- 車両のシガープラグコード接続で充電が困難な場合（長時間エンジン始動ができない場合など）、弊社オプションの SS-065 AC100V 専用充電器で家庭用（100V）コンセントから充電することができます。

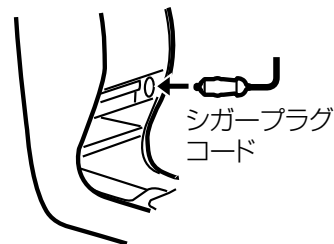
# ご使用前に

## レーダー本体を充電する

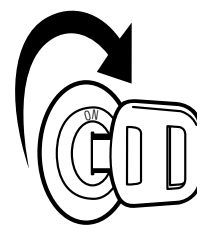
- 1) レーダー本体の電源ジャックに付属のシガープラグコードを差込みます



- 2) 車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを差込みます



- 3) 車両のエンジンを始動した状態で充電を行ってください



### アドバイス

バッテリー電圧が極端に低下した場合は、シガープラグコードを接続して、レーダー本体の電源スイッチを一旦 OFF にし、再度 ON にしてください。



## ソーラーバッテリーとシガープラグ電源

本製品は、ソーラーバッテリー動作時に、より長時間動作するように設計されています。シガープラグコードを接続することによって、より多くの無線警報を行います。

電源の使用状態		ソーラーバッテリー	シガープラグ電源
無線警報	署活系 (⇒ P30)	警報しない	警報する
	ワイド (⇒ P30)		
	警察活動 (⇒ P30)		
	新救急 (⇒ P31)		
	消防 (⇒ P31)		
	消防ヘリテレ (⇒ P31)		
	レッカー (⇒ P32)		
	高速管理車両 (⇒ P32)		
	警備 (⇒ P32)		

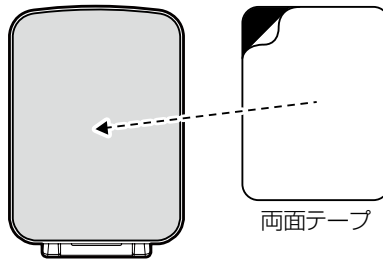
# 取付け方法

## レーダー本体を取り付ける

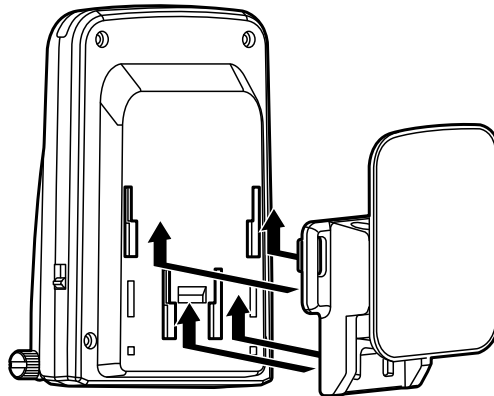
- 運転や視界の妨げにならず、車両の機能(エアバッグ等)に影響のない場所に取付けてください。
- 道路に対して平行、レーダー受信部を進行方向に向けて取付けてください。

## ダッシュボード上にステーを使い取付ける

- 1) ステーに両面テープを貼ります



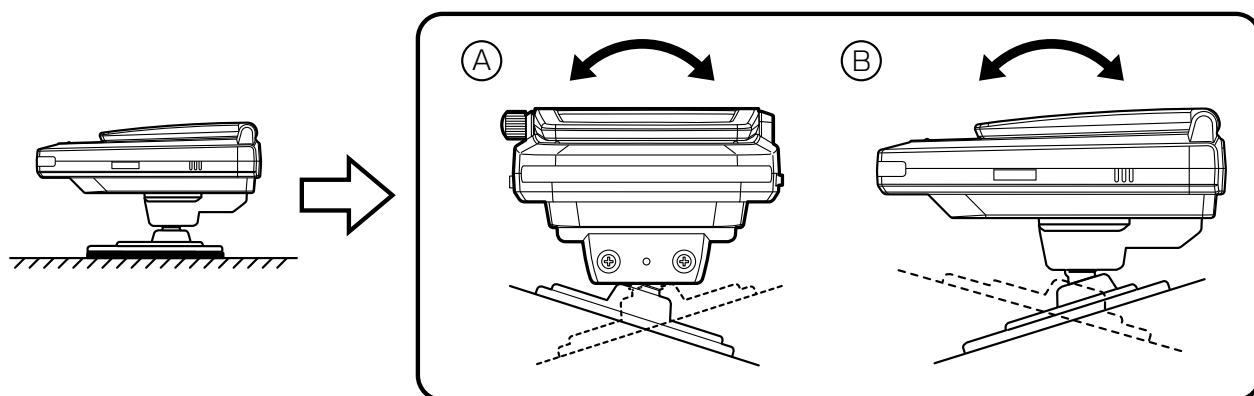
- 2) レーダー本体裏面のステー取付け穴にステーのフックを差込み、「カチッ」と音がするまでスライドします



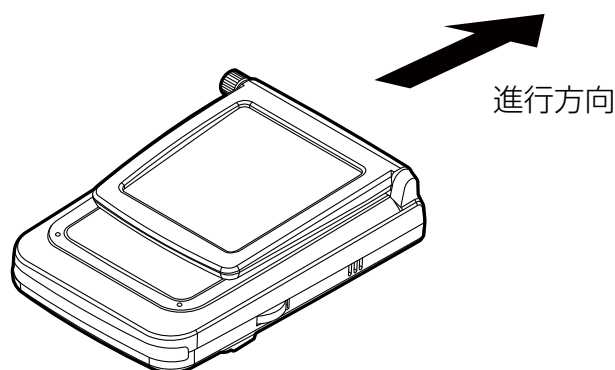
- 3) 濡れたタオルなどでダッシュボード上を拭き、きれいにしてから固定します。レーダー本体が地面と平行になるよう①、②のように角度を調整します

### ⚠ 警告

エアバッグの飛び出し場所等、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。誤った場所への取付けは、事故の原因となります。



- 4) レーダー本体後部が、車両の進行方向に向くように調整します



- 5) シガープラグ電源を使用する場合は、シガープラグコードを接続します

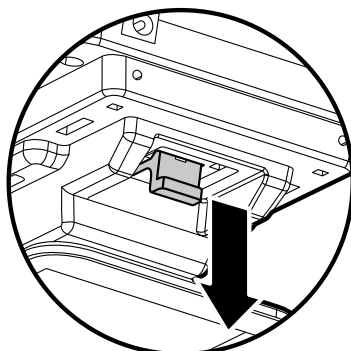
### 👉 アドバイス

一部の外車など、エンジンを停止してもシガープラグに 12V 電圧がある車は、オプション（別売品）の電源配線ユニット（SS-063）を使用してください。

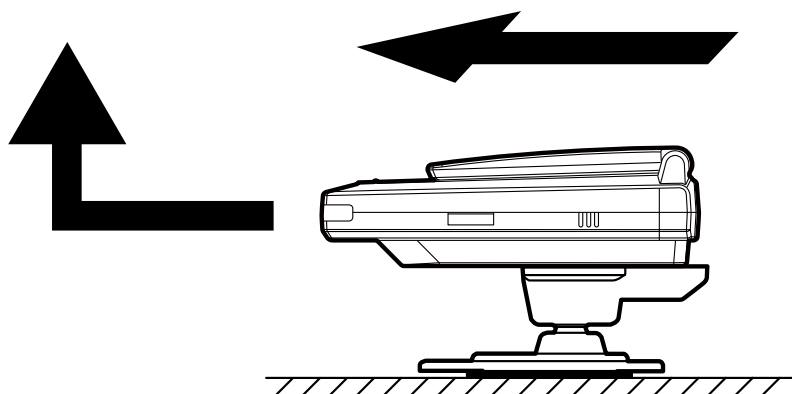
# 取付け方法

## レーダー本体をステーから取り外す

- 1) ステー裏側のツメを押し下げます

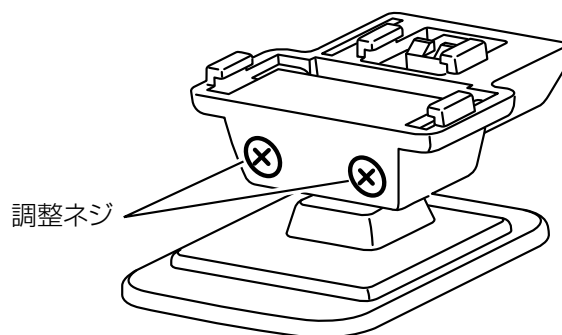


- 2) ステーを押さえながらレーダー本体をスライドさせて取り外します



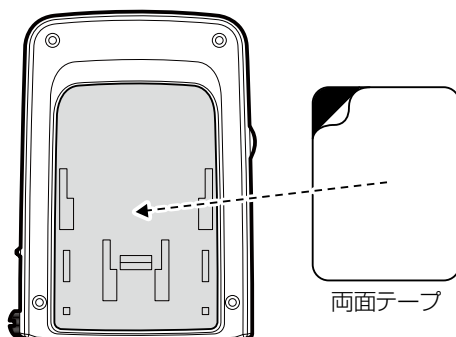
### ⚠ 注意

長い間使用するとステーのジョイントがゆるみ、本体が傾くことがあります。その場合には、本体からステーを外し、調整ネジをプラスドライバーで左右均等に少しずつ締めてください。調整ネジを締めた後は、本体を元の位置に戻してください。

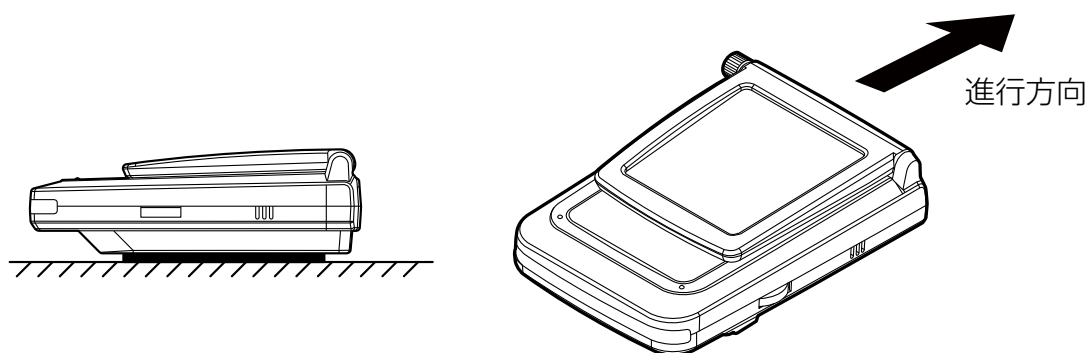


## ダッシュボード上に直接取付ける

- 1) レーダー本体に両面テープを貼ります



- 2) 濡れたタオルなどでダッシュボード上のレーダー本体が地面と平行になるよう場所を拭き、きれいにしてから設置します。またその際はレーダー本体後部が車両の進行方向を向くように設置してください。



### ⚠ 警告

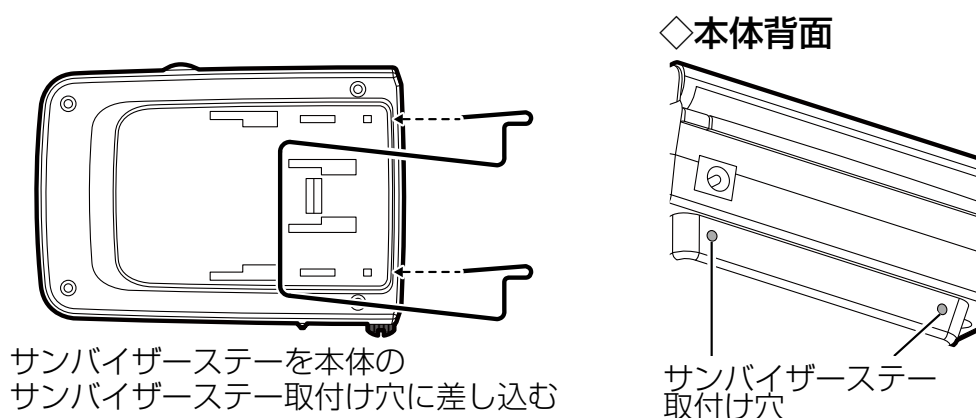
エアバッグの飛び出し場所等、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。誤った場所への取付けは、事故の原因となります。

- 3) シガープラグ電源を使用する場合は、シガープラグコードを接続します

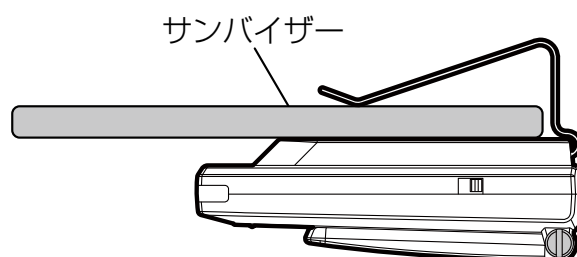
# 取付け方法

## サンバイザーに取付ける

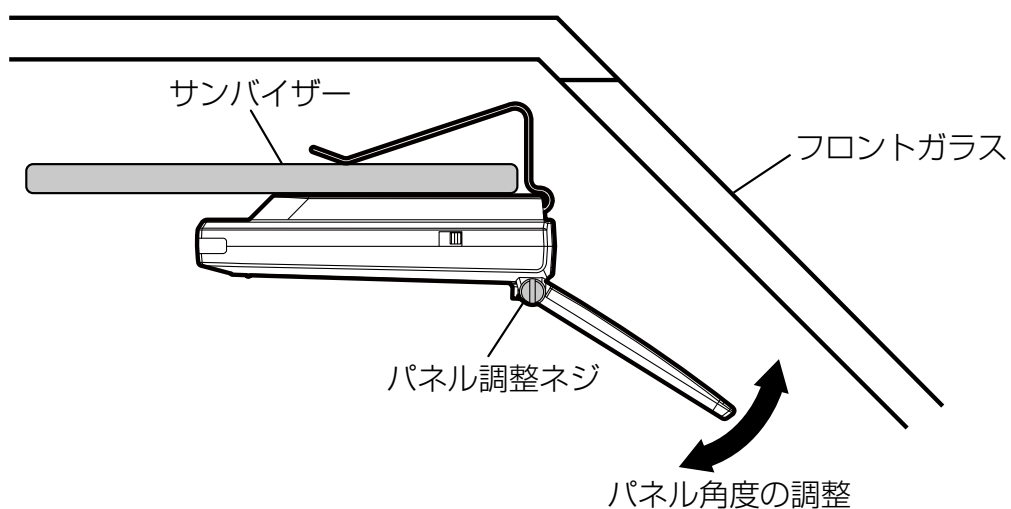
- 1) レーダー本体にサンバイザーステーを取付けます



- 2) サンバイザーにレーダー本体を取付け固定します。



- 3) パネル調整ネジを緩めソーラーパネルの角度を調整後、パネル調整ネジを締めなおします。



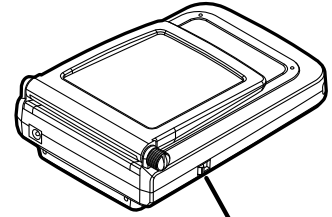
### ⚠ 注意

- パネル調整ネジを強く締めすぎると本体またはネジが破損する恐れがあります。

# 基本操作

## 電源を入れる

1) レーダー本体の電源スイッチを切替える



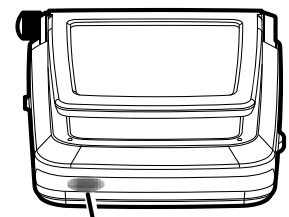
電源 / LSCスイッチ

スイッチ位置	電源 / 振動センサー感度		動作内容
	電源 OFF		シガープラグコードを接続してエンジンを始動することでレーダー本体を充電することができます。
	電源 ON	LOW	電源を ON にし、振動センサーの感度を【低く】します。
		HI	電源を ON にし、振動センサーの感度を【高く】します。

### 👉 アドバイス

エンジンを停止してもシガープラグに電圧が 12V ある車（一部外車など）は、必ずシガープラグコードを配線する場合にオプション SS-063 「電源配線ユニット」を使用してください。

2) 電源 / 振動ランプを確認する



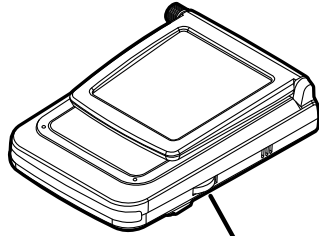
電源/振動ランプ

電源	小さい振動	大きい振動
シガープラグ電源	緑 3 回逆点滅	緑点灯
ソーラー電源	緑 3 回点滅	緑 1 回点滅

# 基本操作

## 音量を調整する

- ・本製品の音量ボリュームで適度な音量に調整してください。



音量ボリューム

## テスト機能を使用する

- ・本製品がどのような警報を行うかを確認できる機能です。
- ・電源 ON 時に【TEST/MUTE】を押すと、レーダー本体から警報時のテスト音が鳴ります。

## オートボリュームダウン機能

- ・本製品は、レーダー受信警報してから約 15 秒後に、警報音のボリュームを自動的に小さくします。一度警報が解除されてから約 10 秒経過すると、元の警報音のボリュームに戻ります。

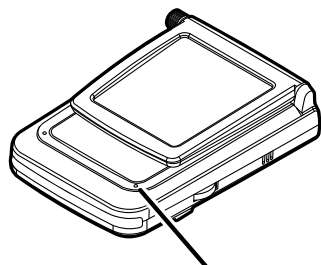
## オートディマー機能

- ・ソーラーパネルの発電量を利用して LED の明るさを自動的に調整するオートディマー機能を採用しています。

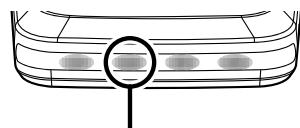


## 内蔵バッテリーの状態をチェックする

- 【TEST/MUTE】を**長押し**すると、内蔵バッテリーの残量をLEDとアラーム音でお知らせします。



TEST / MUTEスイッチ



感度/バッテリーランプ

感度 / バッテリーランプ表示	バッテリーチェック音	内蔵バッテリー状態
緑点灯	ピッピッピッ	充電良好です。
橙点灯	ピッピッ	充電をお勧めします。
赤点灯	プッププッ	充電が必要です。

- 内蔵バッテリーの充電量が低下した場合、アラーム音でお知らせします。

バッテリーチェック音	機能	内蔵バッテリー状態
プッププッ (1 回のみ)	通常動作	充電 40%以下
プッププッ (約 5 秒間)	全機能停止	充電 20%以下

# 便利な機能

## 警報をミュート（消音）する

### ⚠ 注意

運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

本製品の【TEST/MUTE】スイッチを押すことで警報を一時的にミュート（消音）することができます。



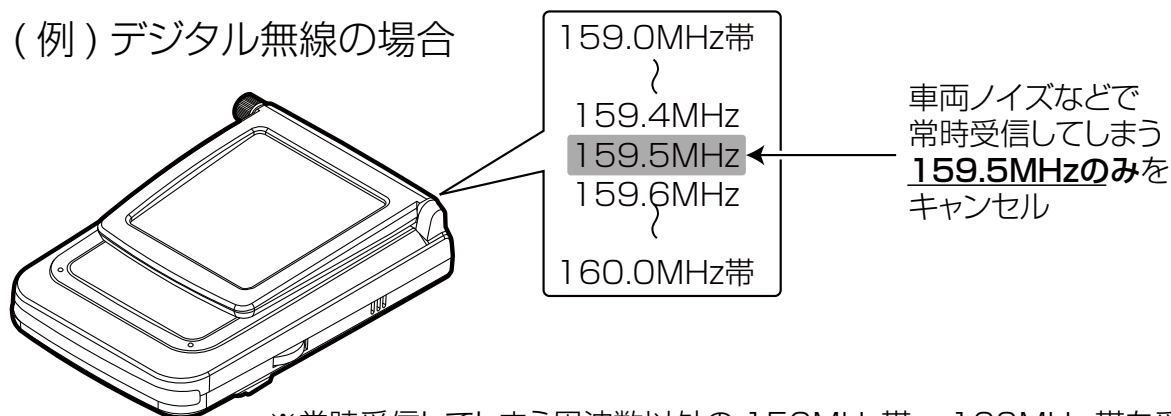
- ・ミュートランプが点灯中は、警報音をミュート（消音）します。
- ・ミュート中に再度【TEST/MUTE】を押すとミュート状態は解除されます。
- ・警告終了後約5秒以内に再受信すると、ミュート状態は継続されます。

## 無線警報をキャンセル登録する

車両ノイズや一部地域など一定周波数のみを受信したままの状態が続く場合に、対象の周波数を登録し、受信対象から外すことができます。

※ カーaoke・350.1MHz 無線・警備無線は設定（登録）できません。

(例) デジタル無線の場合



※常時受信してしまう周波数以外の 159MHz帯～ 160MHz 帯を受信するとデジタル無線として警報します。

・無線設定 (⇒ P22、23) で OFF になっている無線警報は、キャンセル登録に関係なく警報しません。



### 👉 アドバイス

#### 無線キャンセル登録解除方法

レーダー本体をリセットすると登録を解除することができます。ただし、その他の設定した内容もすべてお買い上げ時の状態になります。(⇒ P33)

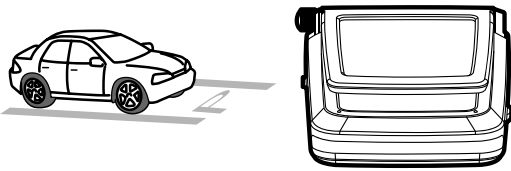
#### 登録ができない場合

「ピピッ」とアラーム音が鳴ります。

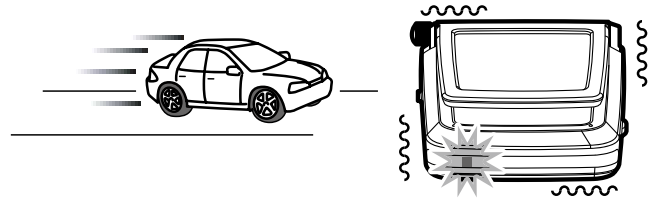
# 便利な機能

## 振動センサーの感度を調節する

- ソーラーバッテリーで使用する場合、レーダー本体は停止時など車両の振動が無い状態が続くと自動的に電源が切れ（オートパワー OFF 機能）、エンジン始動や走行振動を検出すると自動的に電源が入ります。

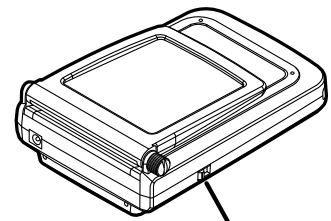


振動がなくなると自動的に電源が切れ、電源/振動ランプが同時に消灯します。



レーダー本体が振動を検出すると自動的に電源が入り、電源/振動ランプが点滅します。

- レーダー本体左側面の LSC-V スイッチを切替えることで振動センサーの感度を調節することができます。車両のタイプによって設定を変更してください。



電源 / LSCスイッチ

LSC-V スイッチ	振動検出感度	車両タイプ (参考)
1	低	ディーゼル (振動の大きい車両)
2	高	ガソリン (振動の小さい車両)

### ⚠ 注意

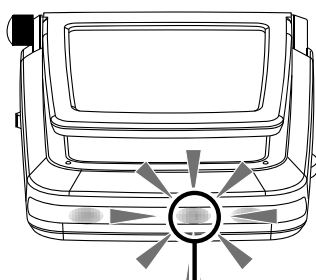
車両振動が極端に大きい車や、駐停車時、走行時の振動差が極端に小さい車は、振動センサーが正常に作動しないことがあります。また、本製品の取付け位置によって、振動の検出度合いが変わることもあります。

### 👉 アドバイス

- 振動や騒音の激しい場所に駐停車する場合に、レーダー本体が振動を検知して電源が切れない場合があります。その場合は、電源スイッチで電源を切ってください。
- 車種によっては走行中でも振動が検出できない状態が続き、振動検出が行えない場合があります。

## LSC 機能

- LSC 機能とは、ロー・スピード・キャンセルの略称で、車の駐停車時と走行時の振動差を検出して、警報音を自動的にカットする機能です。
- LSC 作動時はモード/ミュートランプが【赤点灯】します。  
※無線受信時の感度/バッテリーランプ点滅(点滅しない無線もあります)は消灯します。



モード/ミュートランプ  
【赤点灯】

### ⚠ 注意

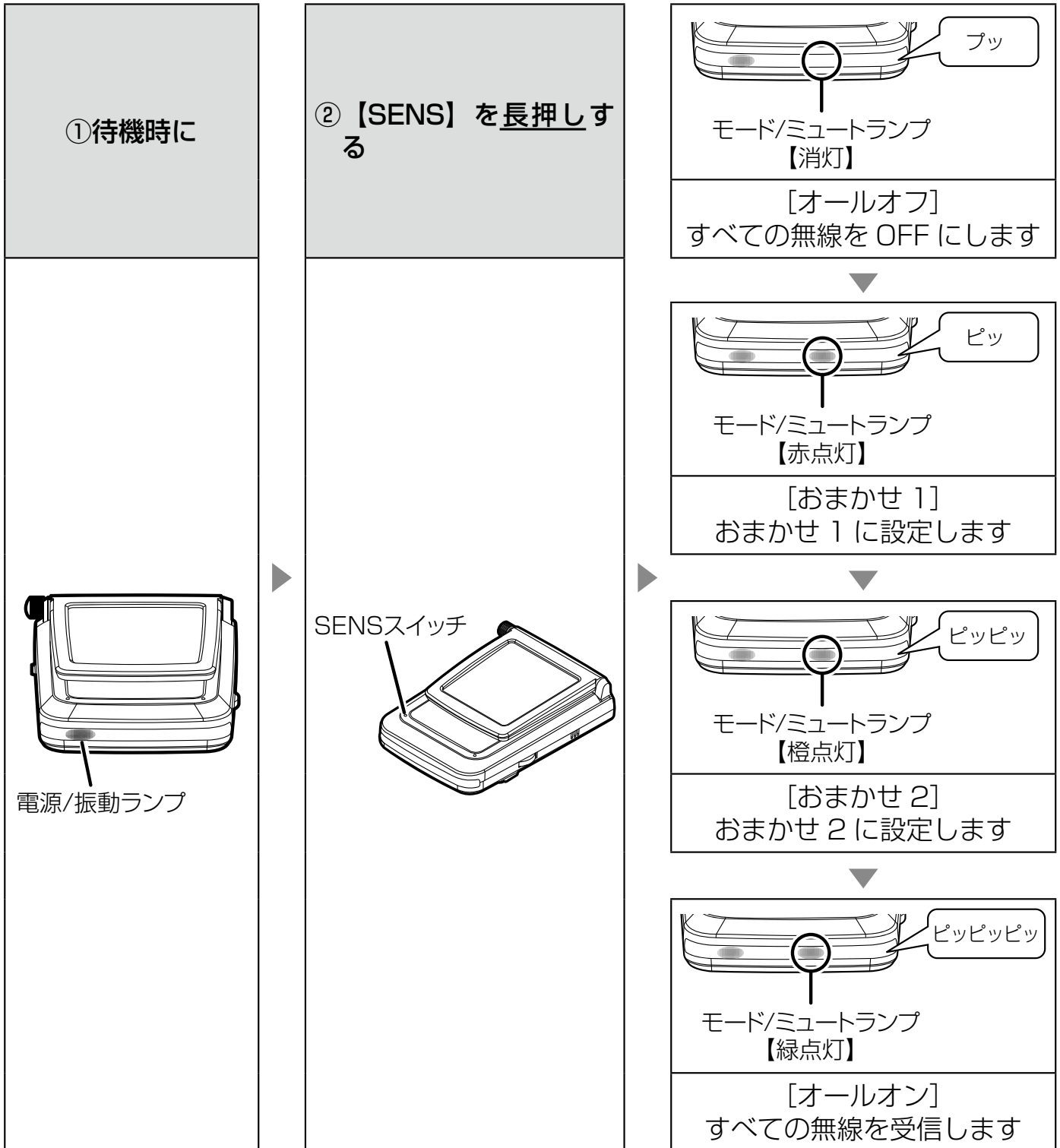
車両振動が極端に大きな車や、駐停車時と走行時の振動差が小さい車は LSC 機能が正常に作動しないことがあります。レーダー本体の取付け位置によっても振動の検出度合いが変わることがあります。

# 設定項目

## 無線設定

無線警報を 4 つのモードから一括で簡単に設定できる機能です。

### 設定方法



【SENS】を長押しする毎に [オールオフ] → [おまかせ 1] → [おまかせ 2] → [オールオン] (以降繰返し) の順に設定されます。

## 設定内容一覧

機 能		オールオフ	おまかせ 1	おまかせ 2	オールオンモード
無線設定	カーロケ	OFF	ON	ON	ON
	350.1MHz				
	デジタル				
	取締特小				
	署活系				
	ワイド				
	警察ヘリテレ		OFF	OFF	
	レッカー				
	消防ヘリテレ				
	新救急				
	消防				
	高速管理車両				
	警察活動		ON	ON	
	警備				
パトロールエリア設定					

※  の無線はソーラーバッテリーの場合、設定しても警報を行いません。(⇒ P9)

### 👉 アドバイス

- ・お買い上げ時は『おまかせ 1』に設定されています。

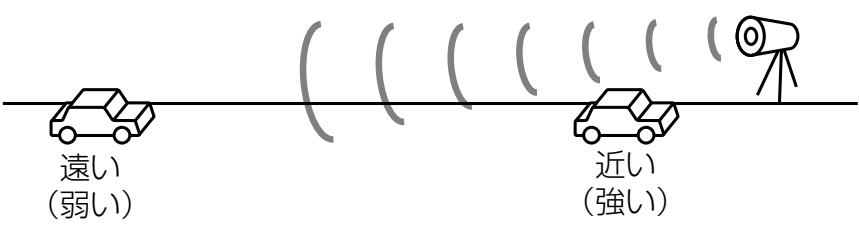
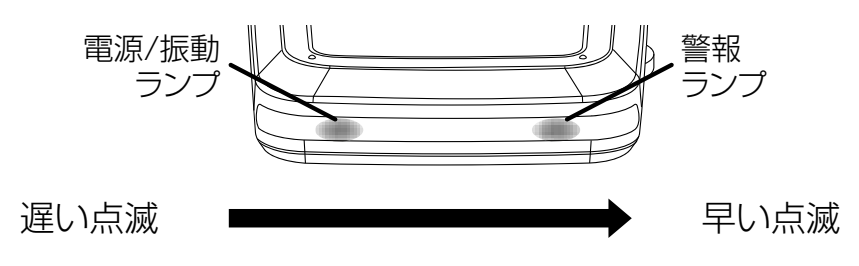
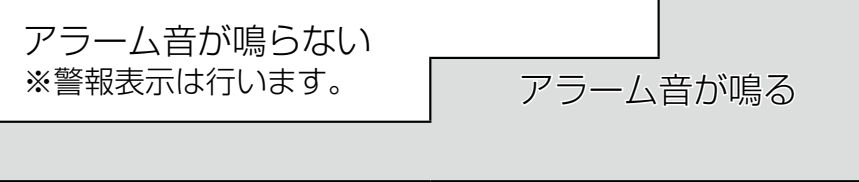
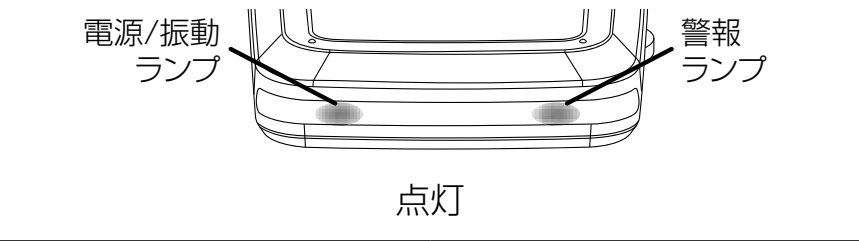
## レーダー受信感度の設定

- ・【SENS】を短押しすることで受信感度の調整ができます。下記を参考に最適な受信感度を設定してください。

受信感度	適切な走行場所	走行状態	表示 LED
LOW	市街地	低速走行	 感度/バッテリーランプ 【赤点灯】
HI	郊外地	中速走行	 感度/バッテリーランプ 【橙点灯】
S-HI	郊外地・高速道路	中・高速走行	 感度/バッテリーランプ 【緑点灯】

## レーダー警報のしかた

レーダー式取締り機（⇒ P26、27）に接近した場合、下記のように警報を行います。

レーダー式取締り機迄の距離（電波の強さ）			
LED 表示			
アラーム音	警報タイミング	LED の点滅に合わせて【ピッピッ】音で警報します。	
	受信感度	LOW	
		HI	
S-HI			
ステルス波受信（⇒ P26）	LED 表示		
	アラーム音	【ピー】 連続音が鳴ります。	

※ レーダー警報中でも無線警報（カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、警察 / 消防ヘリテレ、取締特小、レッカー、新救急、消防、高速管理車両、パトロールエリア、警察活動、警備）を優先します。

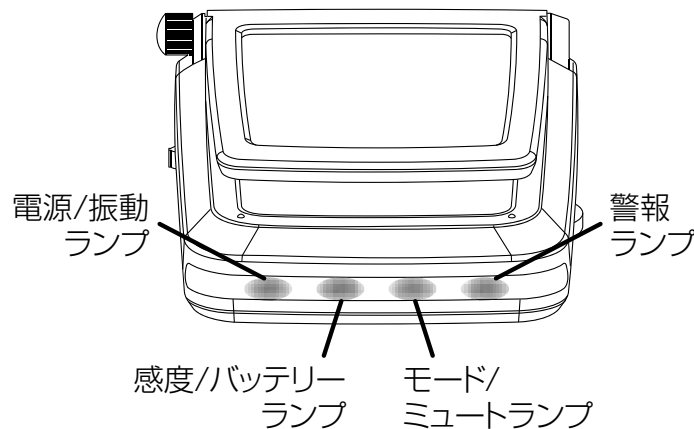


## 無線警報のしかた

- 無線受信を行う場合は、内蔵バッテリーの消費電力が増加するため、シガープラグ電源でのご使用をおすすめします。

### ⚠ 注意

- 放送局や無線中継局の近くを通過する時、強い電波の影響により誤動作する場合があります。また、VHF帯の放送局の近くを通過する場合は、デジタル無線の受信をすることがあります。
- 使用状況、走行状態、製品取付け位置、周囲の環境（電波状況）によって受信感度（距離）が短くなる場合があります。



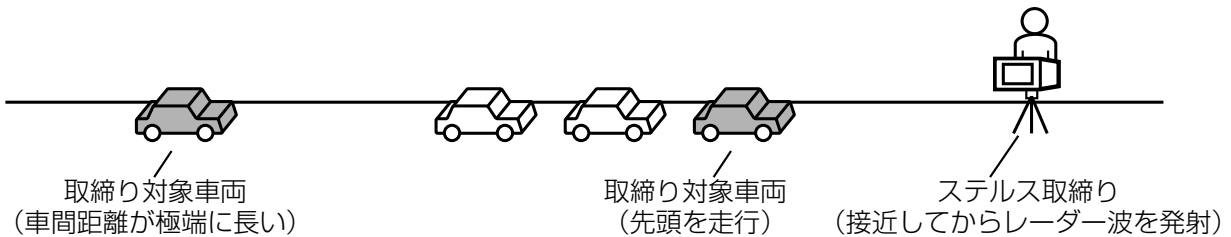
無線名称	電源 / 振動 ランプ	感度 / バッテリーランプ	モード / ミュートランプ	警報ランプ	点滅速度	アラーム音
カーロケ (⇒ P29)	橙	緑		橙	受信レベル に合わせ、  レベル 弱い⇔強い	ランプに同期 (ピッピッ…)
350.1MHz (⇒ P30)		橙				
デジタル (⇒ P30)		緑	橙			
署活系 (⇒ P30)		赤	緑			
ワイド (⇒ P30)		赤	橙			
取締特小 (⇒ P30)		橙	緑			
警察活動 (⇒ P30)		—	緑			
警察ヘリテレ (⇒ P31)	—	—	橙	緑	点滅速度 遅い⇔早い	
新救急 (⇒ P31)	緑	緑	橙			
消防ヘリテレ (⇒ P31)		橙	緑			
消防 (⇒ P31)		緑				
レッカー (⇒ P32)		赤	橙			
高速管理車両 (⇒ P32)		赤	緑			
警備 (⇒ P32)	—	橙		緑・橙 点滅	早い点滅	ポピッポピッ… (繰り返し)
パトロールエリア (⇒ P31)	緑・橙 点滅	—	—			

## 取締まりの種類と方法

### レーダー式取締り

#### ●ステルス式取締り方法（有人式取締り）

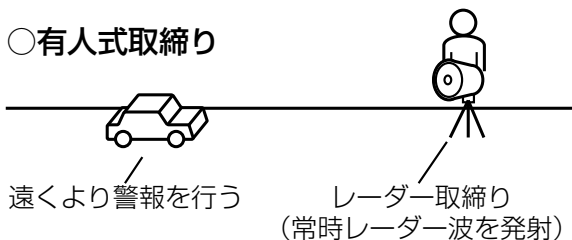
取締り対象の車が取締り機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締り方式です。走行車両の先頭や、前方走行車との車間距離が極端に長い場合等に測定されるケースが多く、100m以下の至近距離でレーダー波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わないことがありますので、先頭を走行するときは、注意が必要です。



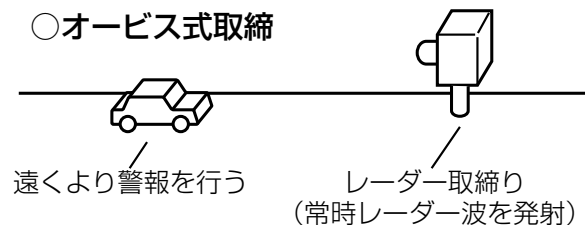
#### ●レーダー式取締り方法（有人式取締り／オービス式取締り）

レーダー波を常時発射し、通過する車両の速度を測定します。また、オービス式の場合は、違反車両を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しておりレーダー波も500m以上の距離から受信することができます。

##### ○有人式取締り



##### ○オービス式取締り



#### ●新Hシステム式取締り方法（オービス式取締り）

レーダー波を間欠発射し、通過する車両の速度を測定し違反車両の写真撮影を自動で行い、警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。レーダー波も500m前後で受信します。

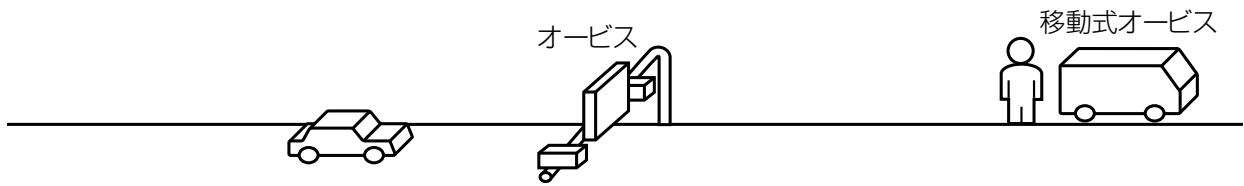


● 移動オービス式／パトカー車載式取締り方法

ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車両を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締り機を搭載したパトカー車載式があります。どちらも出力の強いレーダー波を発射しますので、500m以上の距離から受信することができます。

● ダブルオービス式取締り方法

固定式オービスの先に移動式オービスを設置することで、固定式オービス通過後に速度を上げる車両をねらい撃ちする二重オービスの呼称です。

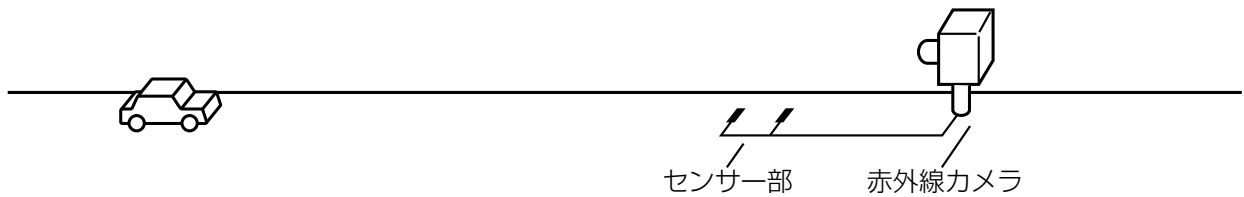


レーダー式以外の取締り

**本製品では受信・警報できません。**

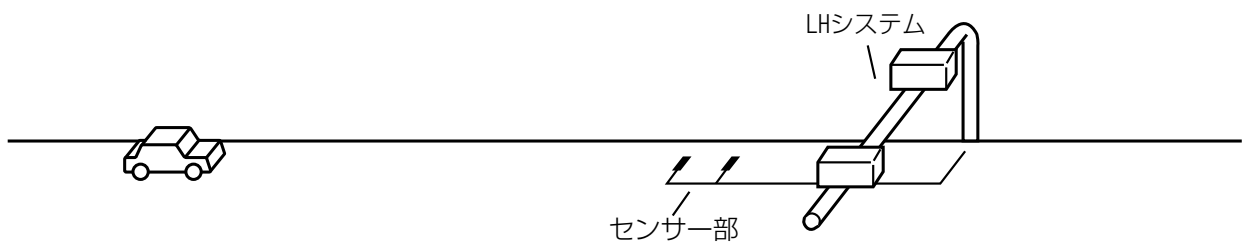
● ループコイル式取締り方法（オービス式取締り）

測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯等に埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車両の写真を撮影します。



● LHシステム式取締り方法（オービス式取締り）

速度計測部がループコイル方式で、違反車両の写真撮影がHシステム方式の取締り機です。



# 付録

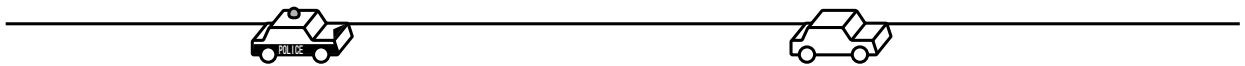
## ● 光電管式取締り方法（有人式取締り）

2点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車両を特定します。



## ● 追尾式取締り方法

パトカー・覆面パトカー・白バイ等が、一定の車両間隔を保った状態で後方を追尾し、走行速度を測定し記録します。

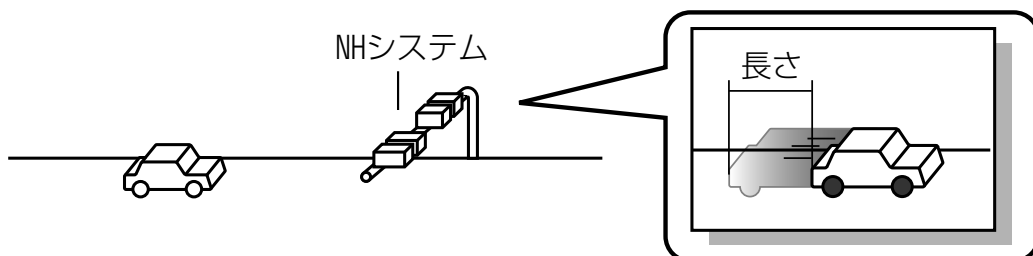


## 👉 アドバイス

光電管式取締り方法（有人式取締り）及び追尾式取締り方法はレーダー波を発射しないタイプの取締り方法のため本製品では探知できません。

## ● NHシステム式取締り方法

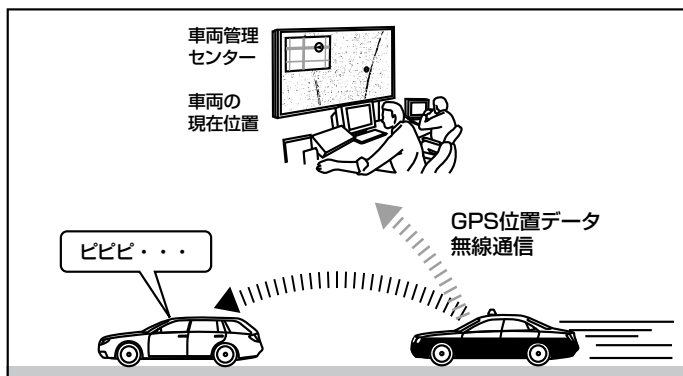
通過車両を一定のシャッタースピードで撮影し、写真画像の残像をコンピュータで解析し残像の度合いによって走行速度を割出すシステムです。現在は車両識別用監視カメラとして稼動していますが、将来的には取締りに使用される可能性があります。



## 無線の種類

### カーロケ無線警報

カー・ロケーター・システムとは、「無線自動車動態表示システム」といい、緊急車両に装備されたGPS受信機より算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部の車両管理センターへ送信するシステムです。本製品は緊急車両からの電波を受信し、音声で警報を行い緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。



現在、緊急車両の多くはGPSより算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部に送信するカー・ロケーター・システムを装備しています。

本製品は、各本部へ送信している電波を受信し、音声で警報を行い、緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

#### ⚠ 注意

- ・カー・ロケーター・システムは間欠で送信される為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化する為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わない為、本製品での受信はできません。
- ・送信電波の中継局、受信本部近辺では緊急車両の接近に関わらず受信することがあります。
- ・本製品が受信するカー・ロケーター・システムは、パトカー、覆面パトカーを中心に導入されており白バイ、救急車、消防自動車等には現在導入されておりませんが、将来的には導入する可能性があります。

※ カーロケーターシステム搭載車であっても、使用されていない場合カーロケーター無線を受信できません。現在、受信できる地域であっても、新システムの移行により受信できなくなる場合がありますのであらかじめご了承ください。また、新システムが導入された地域ではカーロケーター無線の警報ができません。

# 付録

## 350.1MHz 警報（取締り用連絡無線）

取締り用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締り等で使用することがあります。また、通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声受信ができない場合があります。



## デジタル無線警報

各警察本部と移動局（緊急車両等）とが行う無線交信で、159MHz 帯～160MHz 帯の電波を受信します。通話内容がコード化（デジタル化）されており通話内容を聞くことはできませんが、音声と表示で警報を行い、付近を走行する緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

## 署活系無線警報



パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用している無線交信の電波を受信します。

## ワイド無線警報



Wireless Integrated Digital Equipment の略称。336～338MHz 帯を使用している警察専用の自動車携帯電話システムのこと。移動警察電話（移動警電）ともいいます。

## 取締特小無線警報

シートベルト、一旦停止など取締現場では普通 350.1MHz 無線を使用しますが、取締の連絡用などに特定小電力無線を使用する場合があります。

## 警察活動無線警報



機動隊が主に災害や行事に使用する無線です。

## パトロールエリア警報 (パトロールエリア info)

検問などで使用されている一定の無線電波を受信するエリアです。

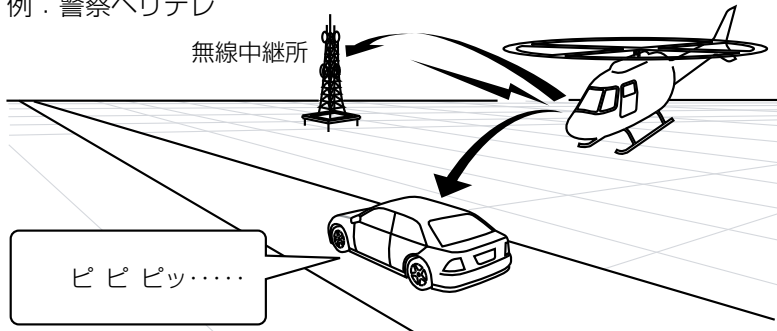
### 👉 アドバイス

カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、取締特小、警察ヘリテレ、警察活動無線の内2つ以上の設定がONになっていないと、パトロールエリア警報は行いません。必ず検問、取締等を行っているとは限りません。

## 警察ヘリテレ無線警報

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で警察ヘリテレは警察所属のヘリコプターから全国にある無線中継所に送信される無線通信のことです。主に事件・事故等の情報収集、取締り等の時に上空と地上とで連絡を取るために使われています。ヘリコプターから無線中継所間の電波を受信し、事件・事故等の情報を事前に知ることができ安全な回避を促します。

例：警察ヘリテレ



- ※一部地域又は、一部ヘリコプターにはヘリテレ無線が装備されていない為、本製品では受信できないことがあります。
- ※ヘリテレ無線は、ヘリコプターが電波を送信した時のみ受信することができます。
- ※送信電波の中継所周辺ではヘリコプターの接近に関わらず受信することがあります。(警察ヘリテレのみ)

## 消防ヘリテレ無線警報

消防ヘリテレは火事等の事故処理や連絡用として使われています。



## 新救急無線警報

救急車と消防本部の連絡用無線として使用しています。主に首都圏で使用されています。



## 消防無線警報

消防車が消火活動中や移動時に連絡用として使用している無線です。





## レッカー無線警報



東名、名神の一部高速道路や一部地域でレッカー業者が駐車違反や事故処理などの時に業務用無線を使用しています。

※ 一般の業務用無線と同じ周波数の為、地域によっては一般業務無線を受信することもあります。

## 高速管理車両無線警報



東日本、中日本、西日本の高速道路株式会社が使用している業務連絡無線です。おもに渋滞や工事、事故情報等でパトロール車両と本部との連絡に使用します。

## 警備無線警報



各地の警備会社が使用する無線です。



## 初期状態に戻す（データリセット）

登録したすべてのデータをリセット（初期化）し、お買い上げ時の状態に戻します。

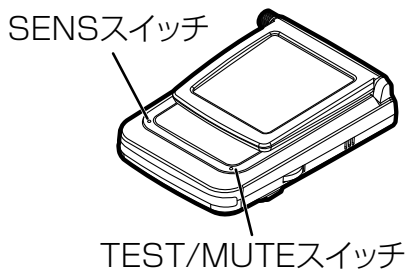
### ⚠ 警告

- 消去したデータの復元はできません。
- お買い上げ時にあらかじめ登録してあるデータは消去できません。
- ディスプレイモード中はデータリセットできません。

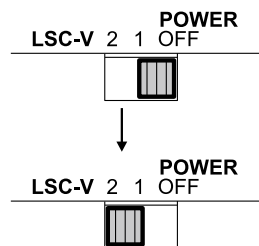
## リセット方法

電源スイッチが OFF の状態で、レーダー本体の【SENS】スイッチと【TEST/MUTE】スイッチを押しながら、電源スイッチを入れてください。

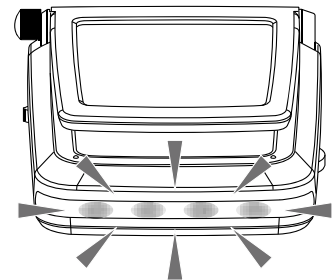
- ① 【SENS】スイッチと【TEST/MUTE】スイッチを押しながら



- ② 電源スイッチを入れる



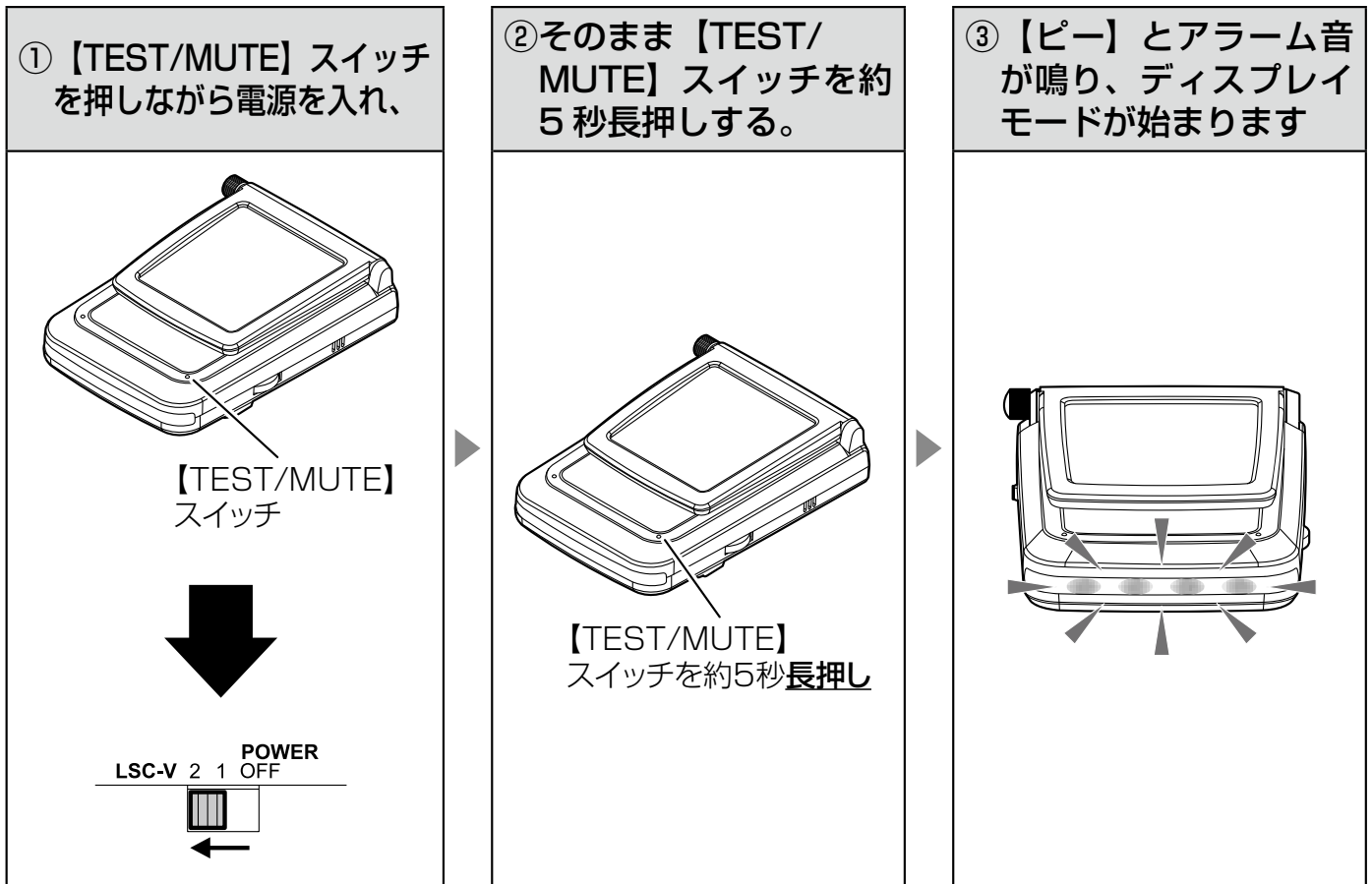
- ③ LED が赤色で全点灯し、【ピー】とアラーム音が鳴ればリセット完了です



## ディスプレイモード（販売店向け機能）



レーダー本体の一連の動きをデモンストレーションします。本製品を店頭ディスプレイとして使用する場合に、設定してください。



- 再度同じ操作を行うとディスプレイモードは終了します。

## 故障かな？と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源スイッチは ON になっていますか？</li> <li>●シガープラグコードが抜けかかっていませんか？</li> <li>●振動センサーの感度は正しく設定してありますか？</li> </ul>	15 ページ 8 ページ 20 ページ
電源 / 振動ランプがつかない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●十分な充電がしてありますか？</li> </ul>	7 ページ
警報をしない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音量は正しく設定してありますか？</li> <li>●LSC 機能が作動していませんか？</li> </ul>	16 ページ 21 ページ
レーダー警報をしない場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>●レーダー式以外の取締りではありませんか？</li> <li>●レーダー受信感度は適正ですか？</li> </ul>	27,28 ページ 23 ページ
無線警報しない場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各無線の設定は ON になっていますか？</li> <li>●シガープラグコード接続が必要な無線警報ではないですか？</li> </ul>	23 ページ 9 ページ
LSC 機能が働かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●振動センサーの感度は正しく設定してありますか？</li> </ul>	20 ページ

# 付録

## 製品仕様

### レーダー本体

電源電圧	DC12V 専用	受信周波数
最小消費電流	10mA 以下 (無振動時)	・ Xバンド (10.525GHz)
最大消費電流	150mA 以下 (シガープラグコード接続時) 100mA 以下 (ソーラー時)	・ Kバンド (24.200GHz)
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン	・ 取締り用連絡無線 (350.1MHz 帯)
検波方式	FM トラッキングタイムカウント方式	・ カー・ロケーター・システム (407MHz 帯)
動作温度範囲	-10℃～60℃	・ デジタル無線 (159MHz 帯～160MHz 帯)
連続作動時間	40 時間 (おまかせモード設定時で無警報状態)	・ 署活系無線 (347MHz 帯、361MHz 帯)
本体サイズ	67 (W) × 96 (L) × 30.2 (H) / mm (突起部除く)	・ ワイド無線 (336MHz 帯～338MHz 帯)
重量	115 g (充電電池含む)	・ 警察ヘリテレ無線 (340MHz 帯～372MHz 帯)
		・ 消防ヘリテレ無線 (382MHz 帯～383MHz 帯)
		・ 取締特小無線 (422MHz 帯)
		・ レッカー無線 (154MHz 帯、 465MHz 帯～468MHz 帯)
		・ 新救急無線 (371MHz 帯)
		・ 消防無線 (466MHz 帯)
		・ 高速管理車両無線 (383MHz 帯)
		・ 警察活動無線 (162MHz 帯)
		・ 警備無線 (468MHz 帯)

※ 本製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

# さくいん

## 1/A

350.1MHz 警報	30
LSC	21
SS-063	4,11,15
SS-065	7

## あ

オートディマー機能	16
オートパワー OFF 機能	20
オートボリュームダウン機能	16
音量調整	16

## か

各部の名称	5
カーロケ受信警報	29
警告	3
警察ヘリテレ無線警報	31
警察活動無線警報	30
警備無線警報	32
高速管理車両無線警報	32
故障かな?と思ったら	35
梱包内容	6

## さ

充電方法	8
仕様	36
使用上の注意	3,4
消防ヘリテレ無線警報	31
消防無線警報	31
署活系無線警報	30
新救急無線警報	31
振動センサーの設定	15
ソーラーバッテリー	9

## た

ディスプレイモード	34
デジタル無線警報	30
テスト機能	16
データリセット	33
電源を入れる	15
取締特小無線警報	30
取締の種類	26~28
取締り用連絡無線	30
取付け	10~14

## は

バッテリーチェック機能	17
パトロールエリア警報	31
保証書	裏表紙

## ま

ミュート	18
無線キャンセル登録	19

## ら

レーダー受信感度	23
レッカー無線警報	32
ロー・スピード・キャンセル	21
ローバッテリーアラーム	17

## わ

ワイド無線警報	30
---------	----